

## 祝 舌辛

新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。見事に難関を突破された皆さんの御努力に敬意を表しますとともに、皆さんを支えてこられました御家族や関係者の皆様にもお祝い申し上げます。

皆さんは、晴れて入学の日を迎えられ、厳しい受験を乗り越えた達成感とともに、これから始まるキャンパスライフに胸を躍らせているのではないのでしょうか。

宮崎県立看護大学は、平成9年に九州初となる県立の看護大学として開学して以来、20年以上にわたり本県における看護の教育、研究、研修の中核機関としての役割を果たしております。

これまでに、卒業・修了された約2,400名の先輩たちは、県立看護大学で身につけた看護職としての高い技術や豊かな人間性により、それぞれの職場で高い評価を得ております。皆さんも是非、先輩たちを目標に勉学に励んでください。

現在、我が国では、国民の4人に1人が75歳以上となる2025年問題を始め、在宅医療・介護の在り方や医師・看護師不足の解消など、医療に関する多くの課題を抱えております。

また、新型コロナウイルス感染拡大により、日常生活や地域経済、そして医療現場に大きな影響が生じており、私たちは、様々な状況の変化に適切に対応していくことが求められています。

このような中、皆さんが志した看護職という職業は、医師とともに医療を担いながら、患者や高齢者の方々を最も身近で支える存在であります。求められる役割や責任は重く、常に研さんが必要となる職業ですが、非常にやり甲斐があるのではないかと思います。

これから皆さんは、看護を学び、現場での実習を重ねていく中で、看護職になるための貴重な経験を数多く積み、その一つ一つが皆さんの財産となります。それらを糧に、高度な知識と技術、そして何より、患者の心に寄り添う温かい心を持つ素晴らしい看護職者として成長していただくことを願ってやみません。

ところで、本県では、「日本のひなた 宮崎県」というキャッチフレーズのもと、宮崎の魅力を全国に発信しております。皆さんの中には、県外出身の方もいらっしゃると思います。学業の合間には、宮崎の美しい自然をはじめ、歴史や文化、おいしい食べ物、温かい県民性など、宮崎の魅力にも大いに触れてください。そして、将来は、是非、宮崎の医療や福祉を支えていただき、県民の豊かな暮ら

しづくりに貢献していただくことを期待しております。

結びに、新入生の皆さんが実り多い学生生活を送られますとともに、皆様方の御健勝と御活躍並びに公立大学法人宮崎県立看護大学の今後ますますの御発展を祈念して、お祝いの言葉といたします。

令和4年4月5日

宮崎県知事 河野 俊嗣